iStorage NS シリーズ

NS300Ra/NS300Ta/NS100Ta/NS500Ra

管理者ガイド
（詳細編）

第3.0版　2011年8月

改版履歴

版数／改訂日	改訂内容
第 1.0 版 2010 年 4 月	初版
第 1.1 版 2010 年 5 月	<表紙> ・NS300Ta を追加 <全体> ・ URL リンク確認・日付更新 <1.1.4 ～ 1.1.7> ・ 以下のように変更 1.1.4 管理者のパスワードを変更する 1.1.5 初期設定ツール用のポートを閉じる 1.1.6 日付と時刻を設定する 1.1.7 コンピュータ名／ドメインを設定する
第 1.2 版 2010 年 7 月	<表紙> ・NS100Ta を追加 <1.1.2> ・項番 1 【補足】を変更
第 2.0 版 2010 年 10 月	<表紙> ・ NS500Ra を追加 <全体> ・ URL リンク確認・日付更新 <導入の流れ> ・ SIS を追加 <3 章> ・ 「3.6 ディスクスペースを有効活用する」を追加 <3.3.2> ・ 【電子メールメッセージ】、【レポート】の説明を変更 <5.3> ・ 注意事項を追加
第 3.0 版 2011 年 8 月	<2.1.1> ・ 旧 OS の Windows クライアントからアクセスする際の注意を追加

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows NT、MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の登録商標です。

ESMPRO は日本電気株式会社の商標です。

Windows 7 は、Windows 7 Starter operating system、Windows 7 Home Premium operating system、Windows 7 Professional operating system、Windows 7 Enterprise operating system および Windows 7 Ultimate operating system の略称です。Windows Server 2008 R2 は、Windows Server 2008 R2, Standard、Windows Server 2008 R2, Enterprise、および Windows Server 2008 R2, Datacenter の略称です。Windows Server 2008 は、Windows Server 2008 Standard operating system および Windows Server 2008 Enterprise operating system の略称です。Windows Vista は Microsoft Windows Vista Ultimate operating system, Microsoft Windows Vista Enterprise operating system, Microsoft Windows Vista Business operating system, Microsoft Windows Vista Premium operating system, Microsoft Windows Vista Home Basic operating system の略称です。Windows 2003 R2 は Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard Edition、Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition および Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter Edition の略称です。Windows 2003 は Microsoft Windows Server 2003, Standard Edition、Microsoft Windows Server2003, Enterprise Edition および Microsoft Windows Server2003, Datacenter Edition の略称です。Windows XP は Microsoft Windows XP Home Edition および Microsoft Windows XP Professional の略称です。Windows 2000 は Microsoft Windows 2000 Server operating system、Microsoft Windows 2000 Advanced Server operating system、および Microsoft Windows 2000 Professional operating system の略称です。

本書のサンプル画像などで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

NAS (Network Attached Storage) は、既存環境に対する変更を加えることなく、大規模ストレージシステムを提供するネットワーク接続型ストレージに特化したアプライアンスサーバーです。

一般的に NAS は導入が容易です。ネットワーク管理や OS に関する広範囲な知識がなくとも使用することができ、通常管理業務はクライアントからリモートデスクトップ経由で行なうことができます。ユーザーは NAS をネットワークに接続して電源を投入し、最小限のセットアップ作業を行なうだけで運用を開始することができます。

管理者ガイドは、以下の二部で構成されています。【概要編】または【詳細編】のみに記載している内容もございますので、各ガイドの目次を参考にして、目的に応じて参照してください。

・管理者ガイド【概要編】

iStorage NS を使用するための基本的かつ一般的な手順について説明しています。

・管理者ガイド【詳細編】（本書）

概要編よりも詳細な設定方法について説明しています。

管理者ガイドは改版される場合があります。以下の Web サイトを参照し、表紙の日付とリビジョンを確認して最新版をダウンロードしてください。

http://support.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html （2010 年 9 月 10 日現在）

【重要】 iStorage NS シリーズは、Microsoft Windows Storage Server 2008 を使用して作成されたファイルサーバー専用機です。標準の Windows サーバーとは違い、ファイルサーバー以外でのご利用はできませんのでご注意ください。

導入の流れ

iStorage NS を導入する際は、以下の流れに従います。

初期設定

スタートアップガイド　または　**1.1　iStorage NS** の導入準備

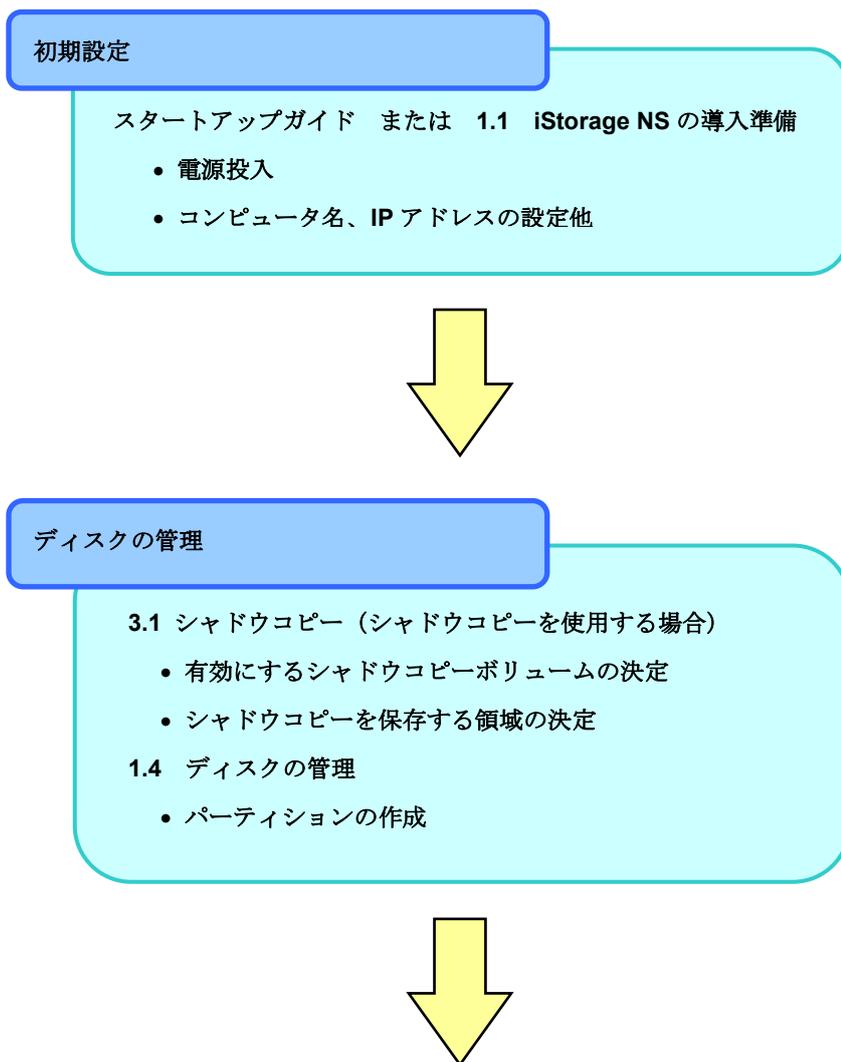
- 電源投入
- コンピュータ名、**IP** アドレスの設定他

ディスクの管理

3.1 シャドウコピー（シャドウコピーを使用する場合）

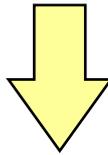
- 有効にするシャドウコピーボリュームの決定
- シャドウコピーを保存する領域の決定

1.4　ディスクの管理

- パーティションの作成

ユーザー／グループ管理

（ドメインによる管理の場合は次へ）

1.5 ユーザー/グループ管理

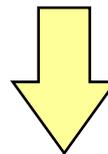
- ローカルユーザーの作成
- ローカルグループの作成

共有の作成

2 iStorage NS の共有領域を作成する

2.1 Windows クライアントからアクセスする

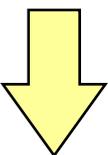
2.2 UNIX クライアントからアクセスする

2.3 FTP クライアントからアクセスする

2.4 Web クライアントからアクセスする

シャドウコピーの使用

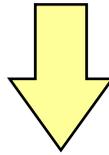
（使用しない場合は次へ）

3.1 シャドウコピー

- シャドウコピーの有効 / 無効
- スケジュール設定

ファイルサーバーリソースマネージャ/ディスククォータの使用（使用しない場合は次へ）

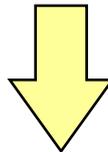
3.2　ユーザーが使用できる容量を制限する

3.3　ファイルの拡張子で書き込みを制限する

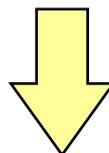
3.4　ディスク使用状況のレポートを作成する

DFS（分散ファイルシステム）の使用

（使用しない場合は次へ）

3.5　複数のサーバーの共有フォルダを統合する（**DFS**）

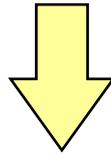
- 名前空間
- ファイルレプリケーション

SIS の使用

（使用しない場合は次へ）

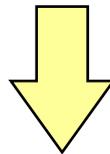
3.6　ディスクスペースを有効活用する

プリンタサービスの使用

（使用しない場合は次へ）

5.1　ネットワーク上のプリンタを使う

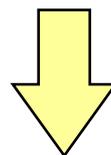
- 接続と設定

オプションソフトウェアの使用

（使用しない場合は次へ）

それぞれのマニュアル等を参照してください

管理ソフトウェアの使用

（使用しない場合は次へ）

4.1　**iStorage NS** の管理

- **ESMPRO/ServerManager** のインストール
- 設定

運用開始

目次

1 iStorage NSの運用設定を行う 1
1.1 iStorage NS 導入準備 2
1.2 iStorage NS のリモート管理 14
1.3 管理者メニュー 18
1.4 ディスクの管理 19
1.5 ユーザー/グループ管理 23
2 iStorage NSの共有領域を作る 29
2.1 Windowsクライアントからアクセスする 30
2.2 UNIX クライアントからアクセスする 38
2.3 FTPクライアントからアクセスする 73
2.4 Webクライアントからアクセスする 81
3 iStorage NSの共有領域を管理する 89
3.1 シャドウコピー 90
3.2 ユーザーが使用できる容量を制限する 116
3.3 ファイルの拡張子で書き込みを制限する 127
3.4 ディスク使用状況のレポートを作成する 136
3.5 複数サーバーの共有フォルダを統合する(DFS) 146
3.6 ディスクスペースを有効活用する 224
4 iStorage NSを運用する 238
4.1 iStorage NSの管理 239
4.2 運用中の設定変更について 239
5 iStorage NSのその他の使い方 249
5.1 ネットワーク上のプリンタを使う 250
5.2 削除済みのファイルを完全に消去する 253
5.3 iStorage NS上のファイルを高速検索する 254